

“日清食品カップ” 第 38 回全国小学生陸上競技交流大会

監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2022 年度日本陸上競技連盟規則ならびに大会要項に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもとに進行する。
2. 監督会議は 8 月 15 日（月）17 時より、オンライン会議で行う。詳細については、別途案内する。
3. 開会式は 8 月 20 日（土）8 時 20 分から行う。選手団は 8 時 10 分までに観客席（メインスタンド）の都道府県指定場所に集合し、開会式に参加する。なお、男子コンバインド A、女子コンバインド A、女子コンバインド B、男女混合 4×100m リレーに出場する競技者は、ウォーミングアップを行う時間帯のため、開会式への出席を控える。

※開会式への参加は、男子コンバインド B、友好レース 100m（男女）、5 年 100m（男女）、6 年 100m（男女）の 7 名（友好レースの参加者がいない場合は 5 名または 6 名）とする。

4. 表彰について

- ① 表彰については全種目 8 位まで行い、賞状授与は B・C 決勝入賞者、コンバインドは 24 位まで行う。
 - 1) 100m、4×100m リレーの A 決勝の入賞者には賞状と副賞、B・C 決勝の入賞者には賞状、その他の出場者（友好レース 100m を含む）には記録証を授与する。
なお、A・B・C 決勝の入賞外（DNS/DNF/失格）の選手・チームについては予選時の記録証を授与する。
 - 2) コンバインド A・B の 8 位までの入賞者には賞状と副賞、9 位から 24 位までの入賞者には賞状、その他の出場者には記録証を授与する。
- ② 8 位までの入賞者の表彰時の服装は、T シャツまたはジャージ（下はハーフパンツ等も可）を着用する。盗撮・迷惑撮影防止の観点から競技用ユニフォームは着用しない。
なお、表彰用のアスリートビブス（シールタイプ）を控え場所で配布するので、入賞者は前面に着用する。
- ③ 8 位までの入賞者は競技終了後、大会関係者により入賞者待機場所へ誘導する。
- ④ 表彰式終了後は、大会関係者が入賞者を西ゲートへ誘導し、そこで解散とする。
- ⑤ 9 位以下（B・C 決勝、およびコンバインド 24 位まで）の賞状は、各県毎にまとめて渡す。
配布については、後述（19-⑤）の通りとする。

5. アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスの表記は、都道府県番号とする。
- ② アスリートビブスは支給されたままの大きさとユニフォームの胸と背につける。（全種目とも、胸・背の両方につける。）
- ③ 友好レースに出場する競技者のアスリートビブスは、男子「都道府県番号-5」、女子「都道府県番号-6」とする。
- ④ アスリートビブスの色は以下の通りとする。

布地の色：	白	100m（5 年、6 年）
	水色	コンバインド A

	ピンク	コンバインドB
	黄色	4×100mリレー、友好レース 100m
数字の色：	黒	男子
	赤	女子

6. 男女混合4×100mリレーのオーダー用紙提出について

- ① オーダー及び友好レースについては、出場競技者名を所定の用紙に記入し、日産スタジアムの選手団受付時に提出する。
- ② 事故などにより、やむを得ず提出したメンバーの変更が生じた場合は医師の診断を受け、大会本部が認めた場合のみ友好レース出場者から男女混合リレーに出場する競技者を変更できる。
※但し、走順の変更はできない。(変更者の入れ替えのみ可)
※選手団受付時に提出したオーダーに変更が出た場合、予選は大会当日の予選1組目の招集完了時刻の60分前までに、決勝はC決勝の招集完了時刻の60分前までに、所定の用紙にて招集所の競技者係に提出する。

7. 競技者の招集について

- ① 招集所は下記の通りとする。
 - 1) 100m・4×100mリレーの招集所は100mスタート側のマラソングート(2階周回路 ※柱番号273～275付近)に設置する。
 - 2) コンバインドA・Bの招集所は第2曲走路側スタンド下エリア(屋内走路)に設置する。
- ② 招集は競技日程に記載の招集開始時刻～招集完了時刻の間に確実に完了する。
※招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意する。
- ③ 招集所には、競技に出られる服装(アスリートビブスを付けた状態)で集合する。
- ④ リレー出場の競技者は走順に「都道府県番号-1～4」の追番のついたアスリートビブスを付けて集合する。
- ⑤ トラック競技は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰のやや後方に付ける。
※リレーはアンカーのみ。
- ⑥ コンバインド競技(混成競技)の2種目目についても同様に招集を行う。招集時間は競技日程に記載の通りとする。
※コンバインド出場者は第1種目終了後、選手団エリアに戻り、2種目目の招集時間までに再度集合する。なお、コンバインド種目に限り指導者は招集所エリアにて、招集完了時刻まで、競技者への指示や指導を行うことができる。招集所エリアに入れるのは監督・コーチ・支援コーチのうち2名とする。
※招集所エリアに入れる指導者用に指定のマーク(2枚)を配布する。
※入場規制を行うため、指導者は必ずAD及び指定のマークを付けて入場すること。
※招集所エリアでの、水分補給は可。但し食事は不可とする。
※昼食休憩時間は、招集所エリアに滞在することはできない。
- ⑦ コンバインド競技に出場する競技者は、混成競技係の指示に従う。
- ⑧ 招集所への競技者および⑥に記載した指導者以外の入場は禁止する。

8. トラック競技

- ① 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。(スパイクのピンは全種目 9mmを超えないものとする。)
- ② 組・レーン順はプログラムに記載のとおりとする。
- ③ 100m (5年・6年)、4×100mリレーは、予選をタイムレースで行い、A 決勝を予選上位 8 番までの競技者、B 決勝を予選 9 番～16 番までの競技者、C 決勝を予選 17 番～24 番までの競技者とする。決勝ボーダーライン上で 1000 分の 1 まで同タイムが出た場合、指導者による抽選を行う。
- ④ スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。
- ⑤ スターティングブロックは競技場に備え付けのものを使用する。
- ⑥ スタートの合図はイングリッシュコールで行う。
- ⑦ 同じ競技者が 2 回不正スタートをした場合、その競技者は失格とし、オープン参加として走る。
- ⑧ 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速する。
- ⑨ 80mハードルは、男女ともにハードルの高さ 70cm、ハードル間 7m、ハードルの台数 9 台、スタートから第 1 ハードルまで 13m、最終ハードルからフィニッシュまで 11mとする。
- ⑩ リレー競技 (男女混合 4×100mリレー) は男女各 2 名から編成され、走順は自由とする。(補欠についても男女各 1 名ずつとする。)
- ⑪ リレー競技のバトンは競技場に備え付けのもの、マーカーは主催者で用意したものを、出発係から受け取り使用する。
- ⑫ リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは 30mとする。
テイク・オーバー・ゾーンの中からスタートする。※ゾーン外から走り出してはならない。
- ⑬ リレー競技に出場する競技者のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑭ リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない競技者は友好レース (男女別・100m) に出場できる。その際のナンバーカードについては上記「5. アスリートビブス ③」の通りとする。
- ⑮ リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。

9. フィールド競技

- ① 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。(スパイクのピンは全種目 9mmを超えないものとする。)
- ② 試技順はプログラムに記載のとおりとする。
- ③ 走高跳
 - 1) 1・2組に分かれ、第 1 曲走路側に並んで設けられた A (1 組)・B (2 組) ピットの 2 カ所で行う。
 - 2) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
 - 3) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2 回続けて失敗した時点で終了とする。
パスを行なうことができる。
 - 4) 最初の試技の高さ、およびパスは、ピット内にて練習時に競技役員に申告する。
 - 5) バーの上げ方は次のとおりとする。

男子	1m05(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降 3cm ずつ
女子	1m00(練習)	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以降 3cm ずつ

④ 走幅跳

- 1) 1・2組に分かれ、A(1組)・B(2組)ピットで行う。(Aピット：トラック側・Bピット：スタンド側) ※バックストレート側のピットを使用する。
- 2) 全員2回の試技とする。

⑤ ジャベリックボール投

- 1) 第2曲走路側を競技場所とする。助走距離は15m以内とする。
- 2) ジャベボールは競技場に準備されたものを使用する。
- 3) 競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボール先端につけて(落下地点に痕跡を残すため)、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。*羽だけを持って投げることは禁止する。
- 4) 全員2回の試技とする。

10. コンバインド競技

- ① 本大会におけるコンバインド競技は次の順で行う。

コンバインド A(男子)：走高跳、80mハードル

コンバインド B(男子)：走幅跳、ジャベリックボール投

コンバインド A(女子)：80mハードル、走高跳

コンバインド B(女子)：ジャベリックボール投、走幅跳

- ② 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表』による。得点は男女共通とする。

※『JAAF 小学生混成競技得点表』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開。

- ③ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ④ スタートまたは試技を行い、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DG)および参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)の場合、得点は0点とする。
- ⑤ 1種目目に出場し、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DG)、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。
- ⑥ 1種目目で欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑦ 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DG)、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。
- ⑧ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

11. 記録・番組編成結果の発表

- ① 大型映像および大会ホームページ(日本陸連HP内)に掲載する。

大会ホームページ <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1665/>

- ② 100m、4×100mリレー決勝の番組編成結果については、①および【マラソングート招集所入り口】に掲示板を設置し、掲出する。

12. トラック競技参加者の荷物の運搬について

- ① 個人種目

1) 100m予選・友好レース・80mハードル(コンバインドA)は、荷物の運搬はしない。大会関係者が競

技者を招集所まで誘導し、荷物を持って退場する。

2) 100m A 決勝は、補助員が入賞者待機場所に運搬する。

3) 100m B・C 決勝は荷物の運搬はしない。大会関係者が競技者を招集所まで誘導し、荷物を持って退場する。

② リレー種目

1) 予選は、荷物の運搬はしない。走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、招集所へ移動し、退場する。

2) A 決勝は補助員が入賞者待機場所に運搬する。

3) B・C 決勝は荷物の運搬はしない。各チーム共に、走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、招集所へ移動し、退場する。

13. 入賞者（8位まで）の誘導について

① 友好レースを除く各種目 8 位までの入賞者は、表彰のためインタビュー室を経由して大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。

② コンバインド（A・B）は 2 種目目終了後、招集所エリアで待機し、8 位までの入賞者確定後、8 位までの入賞者は大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。それ以外の競技者はそこで解散とする。

③ 表彰式終了後に大会関係者が入賞者を西ゲートまで誘導し、そこで解散とする。

14. 抗議について

100m、4×100m リレーの招集所横に「抗議受付(TIC)」を設置する。受付後は競技役員の指示に従い、「抗議者控え室（219 室）」に待機する。

抗議は、予選では結果の正式発表後 15 分以内、その他は結果の正式発表後 30 分以内に行わなければならない。

15. 事故防止と競技場の使用について

① 練習は指定された場所・時間で競技役員の指示に従って行き、「事故防止」に万全を期す。

《8 月 19 日（金）大会前日の練習について》

練習時間 11：30 ～17：30

1) 主競技場 100m ホームストレート側
 80mH バックストレート側
 走高跳 フィールド内（←Aゾーン）
 走幅跳 走幅跳ピット

<トラック>

- ・ 走路の外側：周回（ジョギング）
- ・ 第 2 曲走路内側またはトラック外側：ストレッチング・ドリル
- ・ 1～2 レーン：スプリント練習（流し）
- ・ ホームストレートの 5～9 レーン：スタート練習
- ・ バックストレートの 5～8 レーン：ハードル練習 6 台×4 レーン

<フィールド>

- ・ 走幅跳：バックストレート側で、Aピット(スタンド側)、Bピット（トラック側）に分かれて、練習を行う。A・Bピットの使用は各自で選択する。

- ・走高跳：第1曲走路内に1m00から1m30および1m25から1m45以上で行う2つのピットを設置、練習を行う。ピットは各自で選択、ピット間の変更も可。

競技会：男子：練習1m05、開始1m10

女子：練習1m00、開始1m00

※フィールド内(Bゾーン)、ジャベリックボール投の助走練習等は不可。
(Bゾーンでは集合写真撮影)

2)補助競技場 4×100mリレー (トラック)

- ・走路の外側：周回 (ジョギング)
 - ・第2局走路内側またはトラック外側：ストレッチング・ドリル
 - ・第1コーナー (第2コーナー手前まで)：スタート練習のみ
 - ・第2・第4コーナー：1～2レーンは流し・バトン流し等
4～8レーンはリレーのバトンパス
 - ・第3コーナー：1～8レーンすべてバトンパス
- ※ラダーやミニハードル、トーイング等の持ち込み、使用は禁止。

3)投てき場 ジャベリックボール投

- ・やり投げピット：投てき練習

《8月20日(土)大会当日の練習について》

練習時間

1)補助競技場 7:30～16:00

- ①体操等のウォーミングアップはバックストレート側のトラック外側部分で行う。
フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止する。
- ②競走路の使用は次の通りとし、逆走は禁止する。
 - ・1～2レーン：ジョギングで使用。
 - ・3～5レーン：リレーで使用。
 - ・6～8レーン：(ホームストレート側)100m種目で使用。
 - ・7～8レーン：(バックストレート側)80mハードル種目で使用。
- ③走高跳、走幅跳のピットは使用可能。

2)投てき場 女子 8:00～9:30

男子 12:10～13:40

- ② 招集所待機中の練習等は禁止とする。
- ③ 練習場にハードル等の持ち込みはできない。※ハードルは主催者側で準備した物を使用すること。
- ④ 大会当日の練習は補助競技場と投てき練習場(ジャベリックボール投)で係員の指示に従って行う。
- ⑤ スタンド裏コンコースでの練習は禁止とする。

- ⑥ 練習場に立ち入りのできる監督・コーチ、支援コーチは各都道府県で最大8名までとする。
※配布されたADを必ず着用のこと。なおADを他者に貸与することはできない。
※曲走路、ピット内の立入は競技者のみ、監督・コーチ、支援コーチは立入禁止。
- ⑦ 練習場の使用時間、使用方法は監督・競技者注意事項に従うこと。
- ⑧ 更衣については、招集所横の競技場内に更衣室を準備する。貴重品、荷物については各自で管理すること。

16. ケガ等への対応

- ① 救護については競技場内の医務室を使用する。応急処置は大会本部で行うが、以後、保険適応外の責任は負わない。
- ② 監督・コーチ（支援コーチは除く）、競技者は国内旅行傷害保険に加入する。

17. 競技場内への入場と、写真・ビデオ等の撮影について

- ① 入場者は大会主催者が提示する感染症対策に従う。
- ② 盗撮防止措置として、本大会主催者より各選手団に40本（予定）のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後方からも確認できる位置（左肩）につけること。
- ② リボンが確認できない場合や、リボンの有無に関わらず不適切な撮影が認められた場合には、警備員もしくは大会関係者によりお声掛けする場合がある。

18. その他

- ① 開会式は、ウォーミングアップ中の競技者と指導者を除く選手団（競技者・指導者）が参加する。
- ② フレンドシップパーティーは全選手団（競技者・指導者）とも参加とする。
- ③ 横断幕は1階スタンドの各都道府県に割り当てられた席の前で、指定された柵のみに掲出を認める。
- ④ スタンド裏コンコースに、各都道府県の控え場所を割り当てる。コンコース内には、テント等、障害物となるものの設置や、壁面・柱・柵への掲出物は、いかなる用途・サイズであっても設置を不可とする。
- ⑤ 記録証・リザルトについては大会終了後に各都道府県選手団監督へ郵送する。ただし、大会終了後に宿泊をする都道府県については、翌日の朝食の際に各選手団のテーブルに配布する。
- ⑥ 競技場（主競技場、補助競技場、投てき練習場）のトラックおよびフィールドには水およびスポーツドリンク以外の飲食物の持ち込みは禁止する。
- ⑦ ゴミは各自持ち帰りを原則とする。
- ⑧ 感染症拡大防止対策については別紙を参照する。
- ⑨ 熱中症に十分に注意すること。
- ⑩ 本注意事項のうち、各項目とも変更になる場合がある。